

平成 28 年度 普及に移す農業技術

「信交酒 545 号」は、栽培特性・醸造適性に優れ酒造好適米として
有望である

農業試験場

1 技術の要約

新品種「信交酒 545 号」は、いもち病に対する耐病性があり、栽培特性が高く、とう精時の碎米発生は少なく、醸造適性も高いことから、新たな県オリジナル酒造好適米として期待できます。

2 技術の内容

「信交酒 545 号」は「美山錦」に比べ以下の特徴があります。

- ・ 出穂期および成熟期は同程度。
- ・ 収量は同程度か上回り、耐倒伏性は優れる。
- ・ 葉いもちおよび穂いもち抵抗性、耐冷性は優れる。
- ・ 玄米粒の大きさは同程度の“やや大”であり、心白発現率が高く外観品質は優れる。
- ・ とう精時における碎米発生は少なく、加工適性に優れる。

「信交酒 545 号」の清酒（純米吟醸酒）では、味巾があり、なめらかさが特徴があると評価されました。

表 1 生産力検定本試験成績 (平成 20～28 年、農業試験場)

系統名 品種名	出穂期 月・日	成熟期 月・日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/㎡	倒伏	精玄 米重 kg/a	同左 比率 %	千粒 重g	外観 品質
信交酒545号	7.27	9.07	88	19.3	453	微	68.5	112	24.9	中上
比)美山錦	7.26	9.07	100	20.3	389	や多	61.4	100	24.2	中中

表 2 特性検定試験結果 (平成 20～28 年、農業試験場)

系統名 品種名	葉いもち	穂いもち	耐穂 発芽性	耐冷性
信交酒545号	強～極強	強～極強	や易～中	強～極強
比)美山錦	や弱～中	中	や易～中	中～や強